



令和4年度 第3回・第4回共同機構研修会 ————— 令和4年6月13日(月)・7月8日(金)

発達特性から生じる子どもの困りへの支援方法を探る

講師 岡崎 達也

(公社)京都市児童館学童連盟事務局主任厚生員(統合育成担当)

保育場面で気になる子どもの中には、発達特性を持つ子どもが少なくありません。特性は、①社会性、②コミュニケーション、③想像力、④注意・集中、⑤感覚特性、⑥運動面・学習面に分類され、それによって内在的な問題(自分が困る)、外在的な問題(周りが困る)、学業の問題のリスクが高まります。また、困った場面での表現方法にはアクセル(多動、逸脱行動など)とブレーキ(過緊張、フリーズなど)があり、園と家庭や学校と学童保育では姿が全く違うこともあります。支援者が連携を取り合い、場面場面での姿の意味を考えることが支援への手がかりとなります。

まず、発達特性はその子がずっと持っている特徴・個性であり、脳の情報処理の仕方が他の人とは違うのだということを理解してください。そして、特性があっても、環境や周囲の人の関わりがその子に合っていれば、気になる行動は起こりません。しかし、保育場面では、沢山の人や物や場面があって、子どもの困りが生じやすくなります。ここでキーワードとなるのが、構造化です。情報を整理して、発達段階や特性に合ったわかりやすい環境を作ります。使わない物にカバーをかけてオン・オフをはっきりさせたり、広さがあれば遊びのコーナーを作ったりします。また、スケジュールやカレンダー、時計、タイマー、写真、イラストなどを使った情報提示の支援は、周りの子どもにも理解しやすいようです。わかりやすい保育空間の構築は支援の大きな要素となります。そして、物理的な手掛かりと同時に、モデルを示す人の存在が必要です。遊びのモデルとなる存在(保育者や年齢の高い子ども)や一人一人がじっくり遊べる環境が、それぞれの園の遊びの文化を創り、過ごしやすい環境の土台となります。

遊びは、楽しいか楽しくないか、認知発達・特性に合っているか合っていないか、という2つの軸で考えることができます。楽しくて認知発達・特性に合っている遊びが、その子にとって最適な遊びと言えるでしょう。自分で遊びを見つけ一定時間楽しめることが、その後(小学校へ行ってからも)の子どもを支えます。遊べない子どもは、児童館でも最も気になる存在です。「こだわり」と言われるものも、子どもが興味関心を持ち、強みとなり得るツールだと捉え、上手く使っていくことができます。子どもは、楽しい遊びの中でルーティン(いくつかの活動や日常習慣の決まった流れ)やスクリプト(生活や遊びの場面での流れや知識)を獲得し見通しが持てるようになり、生活に必要なコミュニケーションや言葉の力を高め、社会的なルール・マナー・スキルを学ぶ土台ができるのです。例えば、アナログゲーム(カードやボードゲーム)は、コミュニケーションや社会的スキル(ルールや順番の理解、駆け引き等)、感情の制御などを促進します。

また、子どもの困り感が表れやすい場面として「集まり」の場面があります。子どもが困った結果として気になる行動が表れる、と考えて対応を工夫しましょう。具体的には、しっかりと姿勢が維持できるような椅子の工夫や興味が持てるような保育者の話し方の工夫、視覚情報提示や子どもの反応を促す場面設定などが考えられます。

その子の良いところを見つけること、そして、特性を持つ子どもにとっても遊びが大きな力となることを踏まえて、今後の皆さんの保育を考えていただきたいと思います。

共同機構研修のDVDで学びませんか？

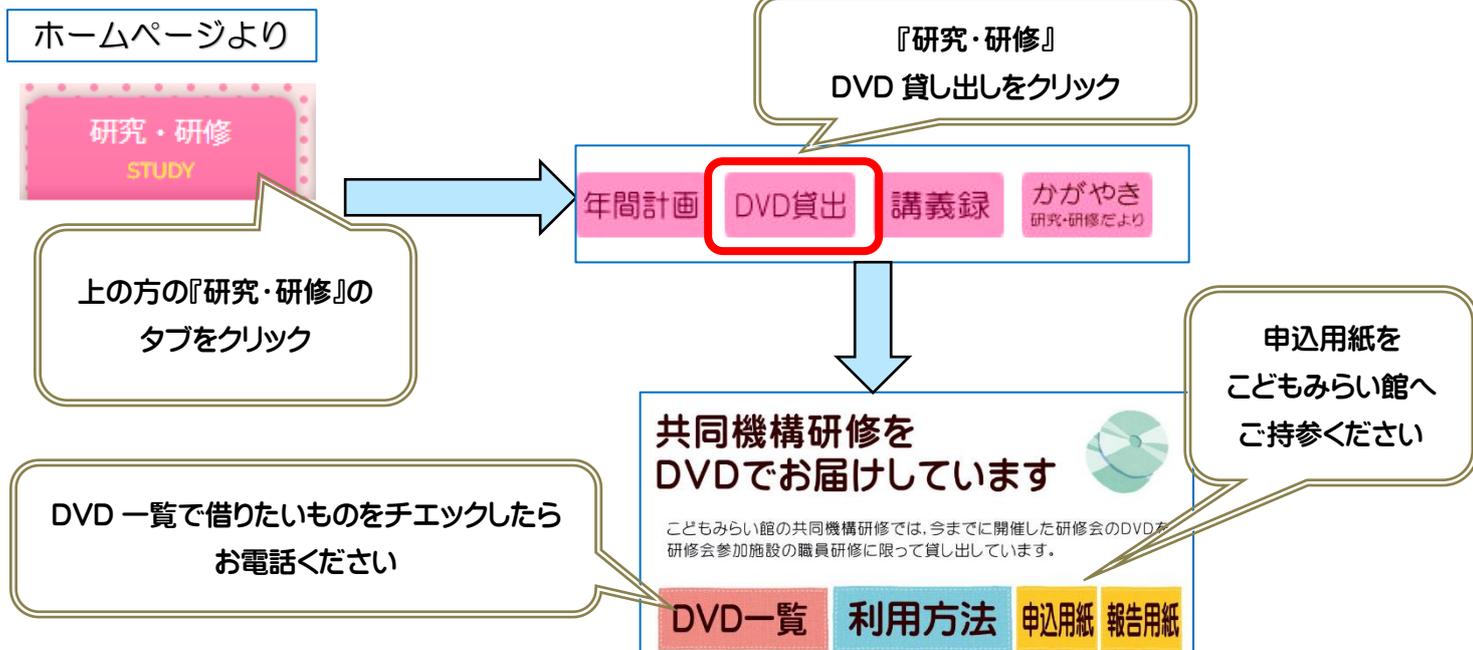
「自分のペースで学べる」「空き時間に見られる」と大好評な

～園内研修でも、お一人からでも～

『こどもみらい館の研修DVD』

コロナ禍でも貸出ししています

「どんな研修があるの？」「どうやって借りたらいいの？」



NEWS

第2回共同機構研修 DVD 貸し出し中

「夢見る心をいつまでも」 永田萌(こどもみらい館長)

第7回・第8回の共同機構研修は
Zoomによるリモート開催で
施設類型を超えて
交流を深める内容を企画

第7回
『困りを抱えた親子の支援
～保護者に寄り添い
支援するために～』

第8回
『保育は深く面白い
～一生懸命生きる
子どもと共に～』

令和4年度
第3回・第4回共同機構研修会の動画
配信を計画



子どもを育む喜びを感じ、
親も育ち学べる取組を進めます。

[京都市はぐくみ憲章]より



この印刷物が
不要になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ！



発行日 令和4年9月22日
発行者 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館
〒604-0883 中京区間之町通竹屋町下る楠町 601-1
Tel : (075)254-5001 Fax : (075)212-9909
URL : <https://www.kodomomirai.city.kyoto.lg.jp/>